

裕福→貧乏を味わった懺悔レポート

こんにちは。
えびです。

今回のレポートでは、私が裕福な生活をした後に貧乏を味わい、子供をキッカケに年収2000万を軽く超えるようになった事、最初から最後までをレポートとして記していきたいと思います。

なぜ私がビジネスを始めたり、自由を求めるようになった気持ちの変化があなたの行動の後押しに1ミリでもなったら嬉しいです。

カッコつけず嘘もナシで全て懺悔するので、長いですが是非最後までご覧になってください。

2021年4月現在私は33歳である。

今でこそ年収2,000万は軽く超えるようになったし、自分がチャット一週返すだけで500万得たりと、自分自身の事業を進めるのが毎日楽しくてとにかくビジネスをしている。

でもずっと上手く行ったわけではなく、裕福な暮らしから貧乏に落ちた事もある。それでもそれが当たり前だと思っていたから、10年位変わろうとも思っていなかった。

私にはあるキッカケがあり変化ができたのだが、あるキッカケに出会う前、自分の幼少期からのお話をしていきたいと思う。

私はぶっちゃけ裕福な暮らしをしていた。億万長者とまではいかないけど、一般よりは裕福だったと。実家がスーパーを営んでいて、おそらく小学の時、バブルの時はめちゃくちゃ金があったと思う。

子供の頃だから知らないが、今振り返っても絶対そうだと言いきれる。

父はベントンを乗り回し、私はゲームが好きだったからファイナルファンタジーが欲しいとか言えば買ってもらっていた。

父も母も金持ちな感じは家では一切出さないのだが、週に何回かは日本一を何度も取っている地元宮崎牛が食卓に並ぶ。

肉＝柔らかい

が私の常識だった。

スーパーだからいい肉が並ぶのよ、って言われたことあるけど結局買うのだからそんなわけない。

中学、高校生位の時には気付いたけど、そんなのが食卓に平然と並ぶのが異常だ。

そんな親を今でも尊敬はしているのだが、我が家にも転機が来てしまう。

以前は地の利を生かし、一本道だったため必ず移動する車は我が家のスーパーの前を通らないといけないようにしていた。

のだが、バイパスが近くに出来てしまう。一本道ではなくなったし、むしろバイパスしか通らない位便利な道が出来てしまったのだ。

映画のカーズを見たことある人ならわかるかな、あんな感じで取り残された街だった。

我が家だけでなく地域全体大ダメージを受けたのだが、成長しようとはそれまで考えておらず現状維持しか考えていなかった。

結果として家は儲からなくなった。
借金も何億あるか未だにわからない。

毎日日銭を稼ぐため限界ギリギリの経営をしている。
今でこそ私から支援出来たりするが、両親も年だから大変だろうし、あとを継いだ長男も苦勞している。

なぜこの事を話したかなのだが、

「就活なんて適当にしても将来実家があればいいでしょ」

位にしか私は思っていなかったのだ。

今思えばめっちゃくちゃかっこ悪いし、これまでの話も出来れば書きたくなかった程に。

そんな考えがあった私は、高校をなんとなく卒業して、なんとなく車関係の会社に就職する。

なんとなくなもんだから、給料低いやって思ってすぐに辞めてしまう。
むしろパチンコ屋のアルバイトの方が車会社の正社員より高いじゃんって。

その時18歳だが、パチンコ屋で働いた影響なのかパチンコにのめり込んでしまう。
今も嗜んだりすることはあるが、当時は毎日行っていた。

買っただけの負けただけの友達と喋ってるだけで充実しているつもりだったのだ。

でもパチンコするためにはお金がいる。
勝っていればいいものの、負けたら遊びにもいけない。

じゃあどうするのか？
親に嘘をついてお金をもらっていた。当時の彼女と〜とか、携帯がどうか。

いやいや、自分で払えよっていうレベルの嘘なんだけど。苦笑

母は優しいからすんなりお金を貸してくれる。
しかも私は家に金があると思いついでから最悪だ。
平然と金貸してと言いついで出すのだから。

周りには勝った時だけすげーだろみたいに自慢したり振る舞って、今思えば何の見栄だったのか。

その後も専門学校に入るため東京行きたいとか言い出して、また金借りて。
なんか就職するのもだるいな、家帰ろっかなみたいな軽い気持ちで専門学校も辞めて。

当時の東京での思い出といえば、バイト先の明大生と共に毎日飲んだり遊んだりすること。
パチンコも当然のようにやっていた。

まあいっか、実家帰ればなんとかなるだろうって思いながら地元宮崎に帰る。

家族や兄弟は快く受け入れてくれるのだが、大人になった私は実家のスーパーに行き、初めて実家の経営がヤバい事を知るのだ。

当時私は社長室にも平気で入れた。
部外者だが、父の会社だから誰も止めることが出来ない。

別に用があったわけではなく、暇つぶしの感覚でいたのだ。
なんするかねーと思っていた時目に入ったのは帳簿の数々だった。

私は商業高校出身だったから、帳簿を見るのは得意分野だ。

我が家はどん位儲かってんのかね？
って軽い気持ちだったのだが、

「...。これはヤバい...。」

って感じで経営も常にギリギリ、ふっと息吹きかければ吹っ飛ぶレベルだと知ったのだ。

しかも借金数億。
もう借りる事すら出来ないんじゃないと思うレベルで心臓がバクバクした。

これは後から聞いたのだが、父は限界が来てヤミ金にまで手を出したのだという。
アホみたいな金利があるけど、そうしないとその日、一日を乗り切れなかった。

店や従業員を考えお店を倒すわけにはいかず手を出したのだ。
その後は私も知らないレベルで大変な毎日だったはず。ヤミ金の件は銀行と相談しながらすぐに解決させたのだが、借金はまた増えた。

これはヤバい。ヤバすぎる...。
フラフラしてたらどうなるんだ？実家が無くなる？私もいくらか借金被るのか？

知識が無かった私は目を背けるしかなかった。
だって知ったのは私の脳だけであって、親はその事実を知らないのだから。

親もこれまでと変わらず接してくるし、何も変化は存在しない。
嘘だったのか？と思う位静かだ。

そこから就職し、同じ会社に10年程勤める事になるのだが、私の20数年続けてきたクズのような甘い考えを変える事は、そう簡単には出来ない。

なんとなく仕事をして、なんとなく帰って友達や彼女と遊んで、お金がたりなかったら母に電話して。

あの事実を知って悪い感覚はあった。
だけど感覚があっただけなのだ。

ヤバイと思いながらもなんとかかなるだろ位に。

そんな私にさらに追い打ちをかけた出来事が、父のガンだった。
今も生きて闘病中なのだが、当時は奇跡と言われる位酷かったらしい。

めちやくちや泣いた。
私の甘さをさらに痛感した。

いい大人なのに、私自身で出来る事は何一つない。
いつまでも子供のように親の脛をかじっていたのだから。

私は4兄弟の末っ子で特に甘く育てられた。

長男は家を潰さない為今日も必死で働いている。
長女は早い段階で結婚し主婦として家庭を支えている。
次男はトヨタの整備工場長になり出世している。

私は？
その頃何も無かった。

なんとなく働いているだけで、手取り13万という事実しかない。

父がピンチでも私だけが不安と口を揃えて言うのだ。
そりゃそうだ、私が私を客観的に見ても、親だったら大丈夫かなこいつとしか思わない。

安心してもらうために私は働いた。
甘い考えは無くなったけど、毎日自分のお金で生活すれば良いと思って、まだ向上心というものは無かった。

たまにそれでもお金の心配を親からされ、なんて情けない人間だと思った。

少しは自立出来たかと安心してもらいつつ、毎日なんとなくで過ごす日々は変わらなかった。

毎日働いていれば、生きてはいけるのだから。

そんな私でも嬉しい出来事があった。当時の彼女に子供が出来たのだ。
正直子供になんて全く興味が無かったし、小さい子と接したことすら生きてきて今まで無かった。

けど彼女と籍を入れ、子供が誕生するという喜びを一緒に分かち合っていた。

それからなんとなくの日々は続く。
結婚していくらかかるのかもわからない、子供にどれだけ手間やお金がかかるかもわからないのに。

子供が産まれる前、彼女の実家に住んでいた。
向こうの意向もあったし、特にそれ自体に問題は無かった。

ただ子供が産まれるとすれば別だ。妻も私もどこかに住んで家庭を築きたいと思っていた。

けど毎日なんとなく過ごしていた私にはお金が無かった。
しかも仕事は朝5時から23時まで仕事で13万という、激ヤバだったからバイトをしていた時期はあってもずっとは体が潰れてしまう。

しかも体が潰れる程なんで働かないといけない？
位にしか思っていなかった。

そんな自分には部屋を借りる程のお金は無かった。
妻は妊娠してるから仕事に行けない、私の13万～16万で毎月やりくりしなければならない。

そこで考えたのは市営住宅だった。
市営住宅なら安くで部屋を借りられるし、というか選択肢はそこしかなかった。

でも一緒に過ごせるのなら何も文句は無かった。
と本心は知らないが妻に言われた言葉が唯一の救いだったと今も覚えている。

めちゃくちゃボロで、風呂も手動で回して火を付けるタイプ。
夏になるとカビがやばくて、ゴキブリもおそらく私達以外見たことない位繁殖していた。

バルサンしたり業者呼んでもだめなレベルで初めての体験。

それでも一緒に暮らせるのは幸せではあった。

そんな中ついに第一子が誕生したのだ。

男の子だったのだが予想外だった。
予想以上に我が子がめちゃくちゃ可愛かった。

何しても可愛く、聞いたことあった親バカになる気分がかなりわかったのである。

それなのに私は子供と一緒に過ごすことが出来なかった。
一番子供が可愛い時期を朝5時から夜23時までという仕事で、朝起きても子供は寝ている、夜帰ってきてても寝ているという、子供の寝顔しかみれなかった。

休みの日も自分が平日休みだったから、赤ちゃんの頃はそんなにどこそこ行けないし、保育園に行きだしてからは、子供は平日だからいない。
どうしても遊びたいと、私がワガママ言って保育園休ませたりしていた。

仕事後妻は起きてくれていたりするが、子育てを任せっぱなしにしているから疲労の顔をしているし、イライラしているのである。

全て私のせいだ。
なんて情けない人間だったのか完全に気付いた。
なんでこれまで行動しなかったのか後悔しまくった。

本当なら5年から10年は早く気づけたはずなのに。

それに気付いたのはいいけど、社会人として決して立派とは言えない行動ばかりしていた私には、何も改善策が思いつかなかった。

同じ仕事から辞めても給料下がるかもしれない、けど子供と過ごせる時間は増えるかもしれない。

でも子供と過ごせる時間が増えたからって、毎日の生活が出来なかったら意味ないんじゃないのかと、ある種自分に言い訳しながら身動きが取れない。

両親や職場で相談したとしても、父親とはそんなもんだと言われるだけ。私もそんなもんだと実際思っていた。

世の中の父親は当然働いているし、子供と過ごすなんて出来るはずがないと。

モヤモヤとしたものがあっただけで、無駄に3年続いた。その間男の我が子はもう3歳になっていたし二人目の子供も産まれた。結局可愛い時期は歩めなかったのだ。

幸せには感じていたものの、もう赤ちゃん時代の子供の姿は戻ってこない。

毎日後悔している間にも三人目の子供も誕生した。

悔しかったけどこれまでのツケが私に返って来ている気がした。妻も子供笑ってはいるけれど、少なからず妻はかなり我慢していたのである。

私抜きで三人も子供を見るなんて、私には知らない苦労やストレスがあったはず。時には喧嘩もしたけど、余裕が無かったからだ。

普段の生活ではあまり出さないように努力はしていたけど、三人の子供の可愛い時期と一緒に歩めない自分が悔しかった。

以前の私なら自分が優先で、暇があったらパチンコ行ったりダラダラしていたけど、子供のおかげで家族優先の考えに変えてもらった。

今は子供に非常に感謝している、そうじゃないと今もまだクズのような生活をしているだろう。

そんなある日の事だった。仕事のお昼休憩時間にスマホを私は開いた。

いつもならスマホでもゲームしたり、長時間だからと昼寝したりしていた。変えたいと思っていたけど、毎日の体力回復もストレス解消も欲しかったからだ。

その日は違いスマホを開いて、

副業 ○

とかで調べだした。

全然私は期待していなかったし、お昼休みの暇つぶしくらいの感覚。
というかこれが初めてではない。

以前から自らがきたい気持ちはあったから何度か副業で調べていたけど、どれも現実的ではなかった。
なぜならば投資するお金が無かったから。

FXとか株とか、素人の私では無知だから無理だと思っていたし、全然知識ないけどマイナスにしてしまったら、妻も子供も露頭に迷ってしまう。

全然現実的ではなかった。

が、
この日は違った。

この日見た記事には、当時まだ20代の男性の方がオンラインビジネス、インターネットを使ったビジネスで月収1000万越しているという衝撃的なものだった。

月収1000万？
意味わからん。

俺は月収20万だぞ？総支給でこれだぞ？
年収にしても240万だから5倍をたった一ヶ月で？
はっ？
意味わからん。

こんな感じで驚きながらも、ワクワクしている自分がいたし今も忘れない。
私はその記事に釘付けになり休憩時間が終わるまで読み続けていた。

その後の仕事は全然覚えていない。一秒でも早く帰宅して読み返したかった。
帰宅したら当然のように皆寝ているし、私もご飯やお風呂を済ませてゆっくりしないと明日がキツイ。

にも係わらずずっと記事を読んでいた。

心臓がバクバクし、ようやく私に希望の光が差し込んだ気がして、行動したい自分を抑え込められなかった。

嘘くさいな、怪しいなとは微塵も感じていなかった。
冷静に考えたら怪しいし、もしかしたら詐欺だったかもしれないけど、ワクワクの方が勝っていたから怪しいなんて感情は無く、もし本当だったら世界が変わる。
そう信じていたのだ。

幸いなことに嘘ではなかった。今は断言出来るが運も良かっただろう。

これは稼げるようになってからの話だが、

「いやこれじゃ稼げないよ」

みたいなものも沢山見てきたからだ。

話を戻す。

ワクワクが止まらなかった私は、その日の内にメルマガに登録した。
すると毎日メルマガが届く。
そしてメルマガを何度も読み返すという行動を当たり前のようにしていた。

最初は理解出来なかったが、段々と理解できるようになっていった。

その時あったお話はブログを使って稼ごうというものだった。
ブログというのはよく自分達が検索して、インターネット上にあるものだった。

確かに誰が作ってるんだろう？と思ったことはあるけど、そこまで疑問は終わり。
調べたことすらなかった。

アフィリエイト、という言葉は聞いたことあったが実際どのようなものかもわかっていなかったのだ。

さらに追い打ちをかけるように、

「年間2万あれば足りる」

「費用はかからず稼ぐことが出来る」

というような魔法の言葉が書いてあった。

それならお金が無い自分でも出来ると単純に思った。
本当に稼げるかよりも、ようやく前を向いていける。

裕福から貧乏生活をしていた私だったが、もしかしたら自ら裕福に出来るかもしれない、子供達に美味しいご飯を食べさせる。

何より子供の成長を身近で見て、一緒に歩んでいけると考えられただけで嬉しかった。

でも知っただけで稼げるわけがない、甘くクズのような考えをもっていた私は尚更だ。
そんな甘い話はないじゃあどうしようと考えていた。

だが答えを私は知っていた。

それは

「知ってる人から聞き学ぶこと」

だ。

基本的には生真面目な人間だった私は、これまで徹底してきた一つだけの財産である。中学高校で学ぶ時も、知ってる人に聞くという行動をしていたし、そうじゃない時は全然理解出来なかったのだ。

親からも言われていた。

「わからなかったら聞きなさい」

と。

これは徹底していたし、親の育て方にも非常に感謝している。

ということは、まずは誰かに習わないといけないと感じていた。居ても立っても居られない私は、まだ募集も何もしていなかった20代男性に、

「教えたりはしないのですか？」

みたいに直球でメッセージ送っていた。まだ妻には相談すらしていないのにだ。

すると返信はあったものの、まだ開始していなかった。今思えばコンサルするつもりだったのだろうが、私が先走りすぎて送ったからだ。

気付いていない私だったが、もしかしたら教えてくれるかもしれない。と期待はしていた。

もし教えて頂けるとして、私はパソコンも持っていなかったしWi-Fiもつないでいなかった。それにコンサル費と言ったら妻は納得しないだろう。

Wi-Fiの固定費だけでも辛いし、貯金が無いことは私が一番知っている。

どうしよう、まだ開始とは言っていないけど、開始したところで参加することは出来ない。

親にももちろん頼むことは出来ないし、その時はプライドも邪魔していた。

そこで出会ったのが、

「自己アフィリエイト」

だった。

自己アフィリエイトを知っているだろうか？

アフィリエイトってその方に聞いたけど、自己ってなんだろうみたいな感じで私は理解出来ていない。

要は自分にかけてくれるアフィリエイト、サービスを自分にあてさらにお金ももらえるというものだ。

意味がわからなかった。

何でこっちが商品購入しているのに、さらに報酬ももらえるのか？

意味不明な世界がさらに広がる。

でもこれだと思った。

よく調べてみると、

- ・クレカ発行で3万円
- ・FX口座開設で3万円
- ・無料登録したら3000円

沢山あった。

本当にこの金額もらえる？だったら意味わからんけど、やるしかない。

しかも年会費があろうとも解約すれば一切お金もかからない。

やらない理由が無かった。

そうこうしている間に、実際学べる機会が現れた。

まだ手元にパソコンもお金もない。

機会を逃したらまた半年後、それ以上先かもしれないしそこから稼げるまでとなると、一番下の子まで大きくなってしまう。

もう自分の気持ちを抑えられなかった。

居ても立っても居られない私は妻に相談して、全てをぶちまけた。

自己アフィリエイトで20万来月には入ってくる、だから挑戦させて欲しい。

妻は大変驚いていた。これまでなんとなく過ごして来た私から真剣に思いを告げられたのだから。

絶対に返ってくるならと、10万私にそっと出してくれた。

ぶっちゃけどこからその10万が出てきたのか私には理解出来なかった。

13~16と変動のある私の給料から、3人の子供を育ててさらに10万の貯金を作った妻はどれだけ我慢していたのだろうか。

感謝という言葉だけじゃ収まりつかないだろう。
その次の日にはすぐパソコンを購入し、Wi-Fiの契約も済ませた。
講座も無事に入ることが出来、ようやくスタートしたのだ。

そこからは急激に私の人生が変わる。

甘い考えを持っていた私は一点変わって毎日必死にやっただし睡眠時間も削った。
するとこれまで1円も自分の力で稼ぐことが出来なかったのに、ブログを始めたら1円ソッコーで稼ぐことが出来たのだ。

しかも本当に家でパソコンを打つだけで稼ぐことが出来る。

そこで出会った方たちも私と同時に始めて先に10万達成した人もいたし、100万達成したなんて人もいた。

ガチだ、オンラインビジネスやべえ、ブログやべえ。

さらにワクワクしていた、1円10円しか稼いでいないのにだ。

そこから私は全てを自分のビジネスに時間を費やした。
子供と遊びたいというのは一時封印すると心に決めた。
と言いながらも我慢できなくて子供と遊ぶ日もあったが、自由時間はほとんどビジネスに。

帰宅後も前の自分なら疲れ果ててすぐ寝ていたのに2時間3時間と平気に起きていられた。

全ては子供と遊ぶその日に向けて、妻が期待してくれてるから止まるわけにもいかず。

その間私には数々の不幸が襲いかかった。
インフルで合併症を引き起こし1ヶ月以上インフルの症状が続いたり、運転中後ろから2トントラックが追突し入院するレベルで怪我したり。

神様が辞めろと言ってる気がしそうだが私は逆だった。

「神様がオンラインビジネスを進める時間を与えてくれた」

と思ったし体はキツイがめっちゃくちゃラッキーだった。

実際その時入院もしたのだが、zoomを使って先に100万とか稼いでる人達がウヨウヨいる世界に飛び込んで、体がキツイのに必死に情報を得ようとしていたのだ。

インフルだけどzoomだったら伝染りませんから！なんて言いながらご一緒したけど全くキツくなかった。

キツイのはzoomが終わった後だけだ。
どうせ仕事も行けないのだから、キツイなんて言っても仕事の辛さはないし死にはしない。

この話は当時一緒になった方は大変印象的らしい。
大体あの時の！って覚えられていたし未だに仲良くさせていただいている。

時には辛いと思ったかもしれないが自分を変えるためコミットしたら半年後には月10万を超えていた。

ただお家でパソコンを使って作業しただけで、自分の仕事の半分位のお金が入ってくるのだ。

10万って言ったらかなりの余裕が生まれる。

妻に服を買ってあげたり、親をご飯に連れて行ったりとこれまで迷惑かけた分、返そうと思って実際出来たのだ。

さらにそこから2ヶ月毎日人生変えるつもりで死ぬ気で作業をした。するとオンラインビジネスの収入は月収30万を超えていた。

子供を膝に乗せてパソコンを叩いたこともある。

子供がその時ハマっていたことについて書いて30万以上稼いだこともある。

かなり幸せだった。

子供と話してビジネスしている瞬間だけで、何て良い世界だと思った。

これを絶対ものにして、サラリーマンの給料を超えたらきっと子供とずっと過ごせると。

上二人はもうすぐ小学生になる位育ったけど、一番下の子はまだ小さい。

諦めずに進めれば人生は変わるのだ、そう確信した。

確信した瞬間私は仕事を辞めた。

すでに会社の給料をオンラインビジネスで抜いて、辞めても会社員時代より良い給料をもらえるからだ。

ただ辞められただけである。

私の目標である子供のそばにいる事が出来るようになったが、じゃあ来月はどうなのか？というレベルである。

完全なる見切り発車だが、半年コミットしただけで生きていける確信があった。

朝5時から23時まで仕事していた時間を、自分のビジネスに全て費やせるのだから伸ばせる自信しかなかった。

その間サボったら下がるのだが、子供や妻のため下げるわけにはいかないから辞めても必死に作業をした。

すると半年後600万を超えていた。

以前の給料は240万程の年収だったから、2年半分の給料をたった1ヶ月で手に入れたのだ。

すげえゾクゾクした。もちろん妻も喜んだ。

オンラインビジネスはこれ位威力があるし、私自身まだまだこんなもんじゃないと思っている。

これで一生子供の成長を身近で見られる、安泰だと思った。

がそこまで順風満帆にはいかなかった。
そこからは鳴かず飛ばずの日々が続く。

ブログで言えば3ヶ月かけて1500記事程書いたが10万位しか稼げなかった。
3ヶ月で10万だから月3万しか稼げていない。

せっかく稼いだ金額もどんどん削られていく。
オンラインビジネスと言いながらブログビジネスを主にして他にほとんど目を向けなかったのが原因だ。

ただ突っ走っただけである程度の金額はいける。
なんで稼げているのか？を理解していない自分がいたからそれ以上稼げなかったのだ。

現状維持でいいや、そんな事思っているから伸びなかった。

オンラインビジネスは何もブログだけではない。

特に情報発信と呼ばれるビジネスは大事だ。

情報発信って全然意味がわからなかったが、単純に情報を発信することだ。
自分が出せる価値を提供する。

今書いているレポートもそうだ。これを見て少しでも意識が変わってくれる人がいたら私は非常に嬉しいし価値を提供出来ている事にもなる。

だがめっちゃくちゃ苦手意識があり、子供のためと言いながら情報発信は避けている自分がいた。

私は昔から人前に立つのが嫌で、小学生の時なんか算数を先生に指名されただけで、恥ずかしすぎて号泣するような人間だった。

小学、中学は1クラスしかなく20人程しかいなかったから仲良くなれたし、1年生から6年生まで顔見知りだから全員話することが出来た。

だが高校生になると知らない人といきなり同じクラスで一緒になる、1学年も300人位いたので人が嫌になりそうだった。

極度の人見知りだったのである。
女子なんか無理だったし男友達で友達を作るのも難しかった。

そんな人間が発信出来るわけがないと思っていた。

ただ自分が嫌だという理由から避けようとしていた。

伸び悩んでいる中避けている自分は、ある集まりに参加した。
すると先に発信している方のお話を聞くことが出来て、自分との差がかなりあることを知った。

その頃まだ理解はそこまで無かったと思う。しかし単純に発信出来るレベルになっている人がカッコよかったのだ。

しかも私は子供の成長を見守る事を目標としている。
それなのに行動しなかったら変わったつもりだけであって、昔の自分と一緒にじゃないかと気付いたのだ。

カッコいい人たちには一生追いつくわけがない。
むしろ生活もいつか危うくなるだろう。

だったら嫌とか言ってもらえない。
いつも考えるのは子供や家族の事。今私が止まってどうするんだ。

子供や家族の事が大事なんだと話していると偽善者だと言われることもある。
でも心から言えるし私を変えてくれた子供を裏切るわけにはいかないのだ。

そこから苦手な動画を撮ったりいろんな方とお話したり。
あれだけ人前に出て号泣していた自分が50人以上いる前でセミナーを行ったりもした。

人間やればなんとかなる。
めちゃくちゃ緊張するけど、終わったら一皮むける。

今は何人の前でセミナーしても平気だし抵抗もなくなった。

どんなビジネスでも最初は苦手、知らなくて当然だという事に気付いた。

発信することが最強だと理解することが出来たし、そこからは何でもチャレンジ出来るようになった。

それと共に武器はいくらでもあるといいし、原理がわかっていればどんなジャンルでもすぐ武器を作れる。

You Tubeも稼げると聞いたからすぐにやった。月100くらいはYou Tubeだけで平気で行くようになったが、これも原理を知っていたからだ。

そこに気づけたのが一番最強だと言えるだろう。

ここからは先の話だが、まだまだいろんなビジネスに私はチャレンジしていく。
そのキッカケをくれた親や子供に感謝しながら。

最後に私がめちゃくちゃ迷惑かけていた親の話しよう。

両親は甘ちゃん時代の私の事は心配だったのだが、いつかわかるだろうと見守っていてくれた。

今ビジネス初めて親とも話すのだが、

「ようやくわかったか、でもまだまだだ。」

なんて言われる。

親すげえ。

私の甘い考えの時付き合ってくれた両親は神なのか。

私が親になったから気付いたけど、20歳位の私を見たら殴り飛ばしたくなる。それでも私が変わると思って、信じて投資してくれていた。

めちゃくちゃ感謝してるし、はるか遠い存在にも思える。

今では私の経営を見せて、毎年喜んでもらっている。

最高の親孝行だとも言ってもらえた。

もちろんお金もお返ししている。

親、特に父親だが経営の話をしたらすぐに理解をしてくれる。

非常に親孝行だと思っていることがあって、私の確定申告の書類を見せたりしている。

ここまで見たことが無いくらい喜んでもらえるのだ。

これは私の憶測も入っているのだが、甘ちゃんだった私が独立して成長してる姿が数字で見れるから喜んでくれるのだろう。

まだまだ私自身も満足していないし、親孝行は続けていく。

それでも足りない程迷惑をかけてきたのだから。

私のようなクズでもキッカケさえ掴んで行動すれば、人は秒で変わる。

それを私は身をもって体験した。

キッカケは人それぞれだけど、どんな人間であろうと人は良い方向に進める。

そのことを私は一人でも多くの方に伝えていきたい。

特にサラリーマンが当たり前だと考えている人が多すぎるし、マインドコントロールされている。

まずはマインドコントロールから壊して欲しい。

当たり前なんて当たり前じゃない。
一歩踏み出したものしか見えない景色は沢山ある。

年収1000万を超える人間は全体の4%しかいないなんて言われているが、あくまで平均値である。

今私の周りでは超えていない人の方が珍しいくらいだ。

サラリーマンだったら私は今も超えていないだろうし、240万でどう1年乗り越えようかとしか考えていない。

未だに子供の寝顔しか見れない生活を繰り返しているだろう。

一歩踏み出しただけでコレほどの差がついてしまう事実がある。

めちゃくちゃ甘い考えだった私でも全然辿り着く事が出来た世界だし、私が出来たなら出来ない人などいないと私は知っている。

サラリーマンで身動きが取れない人。
シングルマザーで子育てに手一杯な人。
自由が欲しいと思いつつ何をすればいいのかわからない人。

どんな人でも参加出来るビジネスの世界、勇気を出して飛び込もう。

今こそ私は、ブログやYou Tube、様々な媒体でコンテンツという私の分身が寝ている間も働いてお金を生み出しているが、以前の私だったら想像もつかないし出来る気もしなかった。

お金が全てではないが、ある程度までは誰もが欲しいと思うだろうし、自由や目標達成のためには稼いでいくべきである。

私はこのままオンラインビジネスを億も稼げると確信しているし、今日もまたそのための仕組みを作っていく。

最後に、このレポートを見た方の一人でも多くが、マインドコントロールされてる世界観を壊して抜け出して欲しい。

そして自分の理想とした新しい世界を自ら構築して欲しいと願っている。

改めてここまでの長文を全て読んで頂きありがとうございました。

感想はいつでもお待ちしておりますので、お気軽にメッセージしてください。

えび